

刈払機操作 マニュアル



いしかわ農村ボランティア事務局

1 準備

(1) 服装

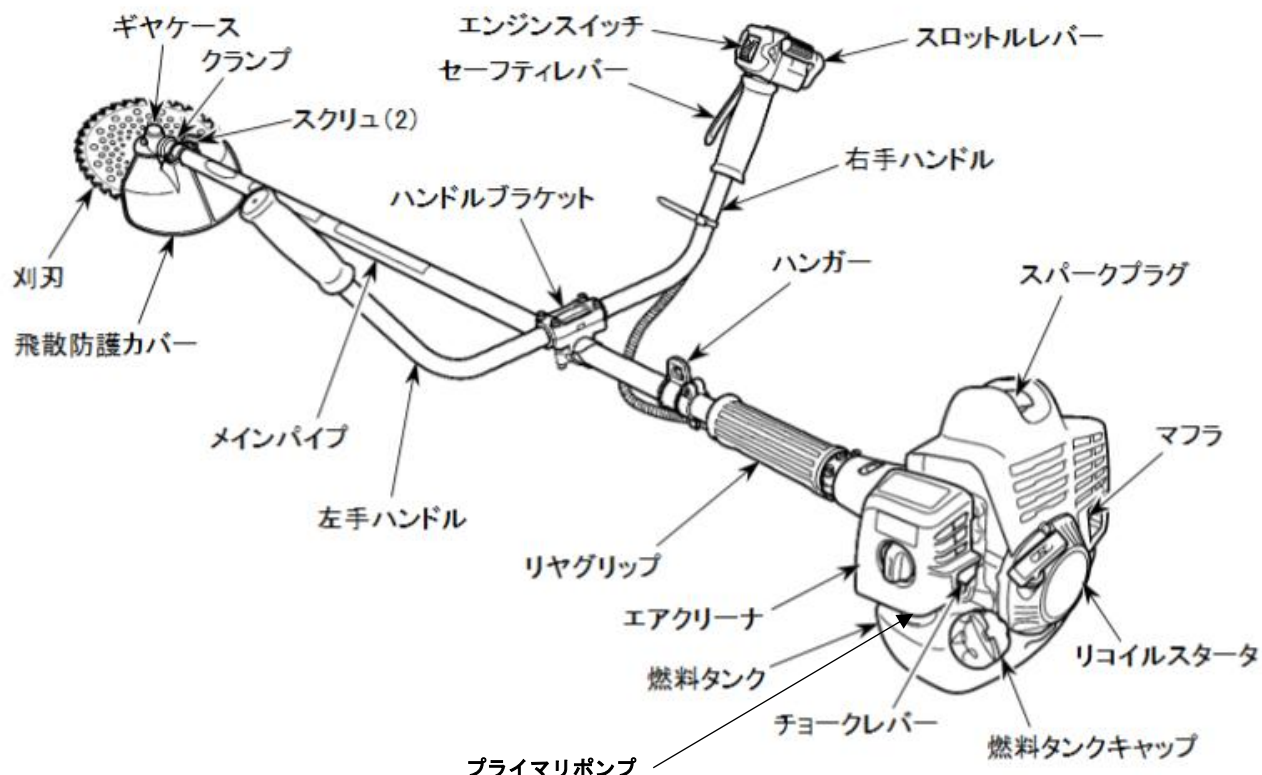
ボランティア作業全般にふさわしい服装は以下のとおり。



刈払機作業では上記に加え、①保護メガネ（必須）のほか、②耳栓、③防振手袋、④すねあて⑤フェイスシールドがあると快適。

(2) 準備

各部品の名前

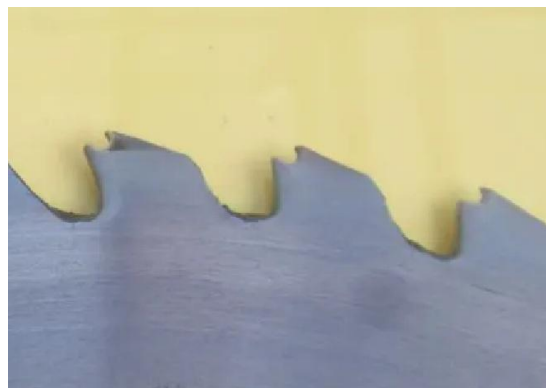


2 作業準備

(1) 刈刃の確認

刈刃のチップがなくなっていないか、丸くなっていないか、しっかり固定されているか確認する。

→いくつもチップがとれている、先端が丸くなっている場合、交換する



チップが取れた状態

(2) ガタツキの確認

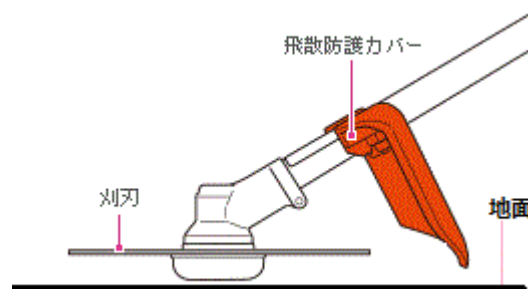
各部のねじがしっかり閉まっているか確認する。

(3) 給油

- ・混合油を使用する。農村ボランティアでは受入れ隊が混合油（青色等）を準備するが、ガソリン（赤かオレンジ）でないか確認してから給油する。※ガソリンで動かすと、故障します
- ・刈払機のタンクの8割（給油口の2センチ下まで）程度入れる。灯油ポンプで入れる場合はホースに残った燃料も考えて早めに止める。

(4) 肩紐の調整

- ・刈払機は手で持つのではなく、肩にぶら下げるイメージ。（手は重さを支えず操作するだけ）自分の身長に合わせ、紐の長さを調整する。
- ・調整の目安は何も支えず、刈刃部分が水平に地面に触れるくらい。



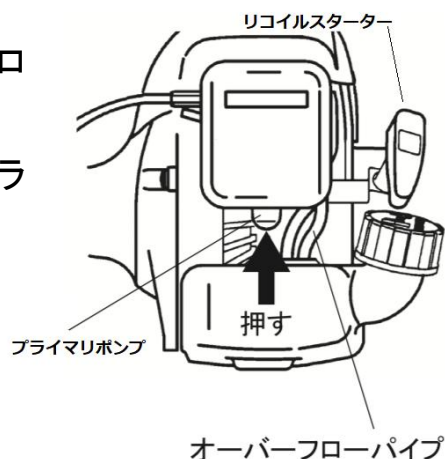
出典：HiKOKI ホームページ

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/safety/grasstrimmer/grasstrimmer.html>

3 刈り方

(1) エンジンスタート

- ・プライマリポンプを燃料がオーバーフローパイプから戻るまで押す。
- ・寒い時期はチョークを閉める。（農村ボランティアの時期は不要）
- ・自分の3m以内に人がいないことを確認してリヤグリップを押さえながらリコイルスタータを勢いよく引く。



(戻すときはゆっくり)

→最後まで引き切ると壊れるので、
60cmくらい引く。

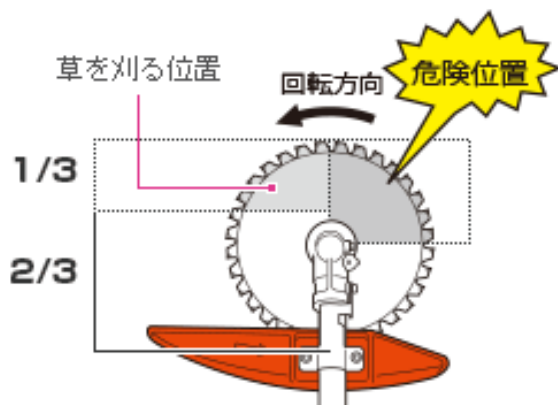
- ・チョークを閉めた時はエンジンがかかたらすぐチョークを開く。
- ・エンジンがかかったら、肩ひもをかけて背負う。
- ・草を刈り始める前に1分以上暖機運転をする。



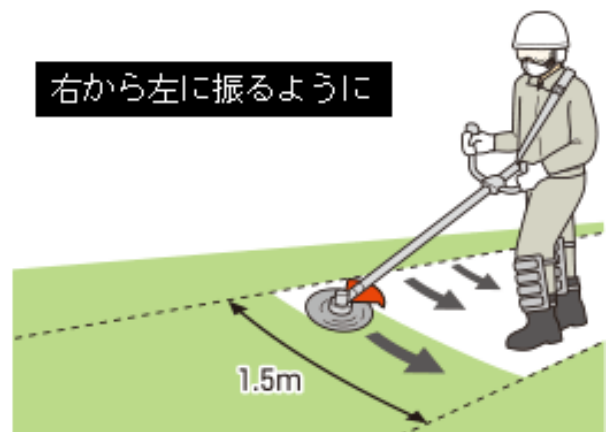
(2) 草を刈る

出典：丸山製作所刈払機 BCS264S 取扱説明書

- ・肩幅より少し足を開き半歩右足を前に出したら、両グリップをしっかりと持ってセーフティレバーを全開まで握る。
→速度はスロットルレバーで調整。7割くらいの出力に
→ハンドルは離さないようにしっかり握らないといけないが、強く持
ってはいけない
- ・刈刃を左と向こう側に10度くらい傾けるように草に当てる。
→草に当てる高さの目安
耕作放棄地 5~10cm 休耕田 1~3cm 畦 0cm
※あくまで目安です。周りで刈っている人の状況も見ながら刈る。
- ・刈刃は時計で言えば10時から12時の位置のみを使い、0時から3時の位置は絶対に使わない。
- ・刈幅は1.5m程度で右から左の一方通行で刈る。
→右で刈るとキックバックが起こる



出典：HiKOKI ホームページ



(3) 止め方

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/safety/grasstrimmer/grasstrimmer.html>

- ・エンジンスイッチを押す。(位置は機械によって違う)
- ・今後1カ月以上使う予定がなければ燃料を戻し、ガス欠になるまで空回しする。

4 注意事項

- ・他の作業者が15m以内にきた時には注意、5m以内にきた時は危険。絶対に5mは間隔を確保する。相手が近づいてきたとしても自分から離れる。
- ・そのためにも、草だけに集中するのではなく、周囲も見ながら作業する。
- ・草が絡まった時は必ずエンジンを止めて草を取る。

(1) 耕作放棄地を刈るときの注意

- ・木の切り株が隠れている可能性あり。勢いよく刈払機を振らず、よく見る。
→親指程度の太さなら刈払機で切れるが、太い木だと、キックバックや刈刃が木に刺さって抜けなくなる。
- ・所により、ぬかるんでいる場所もあるので、慎重に歩く。

(2) 農道を刈るときの注意

- ・刈刃をアスファルトの縁や砂利に当てると、飛び石が車などに当たる可能性がある。10mは軽く飛ぶので、周囲に石が当たると困るものがないか注意する。

(3) 法面（斜面）を刈るときの注意

- ・等高線に沿って下から順番に刈る。刈った草の上は滑りやすいので、しっかり踏みしめて作業する。草丈が高いときは先に上半分を刈ってから根元を刈ると刈りやすい。
- ・万一、滑って転ぶ作業者がいる可能性があるため、複数で作業するときには左右にずれる。

(4) その他上達するための Tips

- ・スロットルレバーは最大にしない。刈っても止まらない最低レベルに。
→回転が高いほど振動が強くなるし、燃費も悪い。
- ・メガネは必須だが、慣れてきたら耳栓、防振手袋も準備したほうが快適
→2, 3年無しで作業しても問題ないが、長期的には難聴、振動病になる可能性あり
- ・作業が終わるとき、休憩するとき、呼ばれたときにはまずエンジンを止める。
→エンジンを止めないと話が聞こえないし、余計な振動を受けてしまう。
- ・レンタル刈払機を使うときには緊急離脱装置を使って休憩しない
→肩掛けバントをしたまま帰る人がいます。必ず肩掛けバントを脱いで休憩する。

5 メンテナンス

(1) 終了後

- ・ 草のくず、油汚れを拭く。
- ・ 刈刃をはずすか保護カバーを付ける。

(2) 定期的な点検（50時間程度ごと）詳しくはマニュアル参照

- ・ エアクリーナエレメントを交換または洗浄する。
- ・ ギアケースに注油する。
- ・ スパークプラグのカーボンを金属ブラシなどで掃除する。
- ・ 燃料フィルターを交換または洗浄する。

6 振動病

- ・ 刈払機の振動により、手の血行が悪くなり、手の感覚が無くなったり、しびれが止まらなくなる振動病になる可能性がある。疲れていなくても30分に5分程度は休憩する。
- ・ 作業中は手足を突っ張らず、楽に曲げた姿勢で刈る
- ・ 日振動ばく露量が振りきれないように注意する。

→周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値ごとの作業時間の目安

3軸合成値：目安時間（h）	3：22	4：12.5
4.3：11	5：8	6：5.5

- ・ 自分で刈払機を買うときは3軸合成値の低いものを選ぶ。

7 害虫

(1) ハチ

- ・ ハチの巣や巣がなくても同じ種類のハチが複数飛んでいるところには近づかない。
- ・ 黒や暗い色の服は着ない。
→明るい色の作業服を着る。スズメバチは黒に反応する習性

(2) ヘビ

- ・ 刈払機は大きい音がするので草刈り中には噛まれる可能性がいくらか小さいが、休憩中などには不用意に草むらに手を入れない。
→毒が強いヘビほど頭がひし形なので、絶対に近づかない。

(3) マダニ

- ・血を吸われないよう、皮膚を露出しない。
→いろんな感染症を運ぶため、どんなに暑くても長袖長ズボンで袖を手袋に、裾を長靴に入れる。万一刺された場合、医療機関にかかること。

MEMO